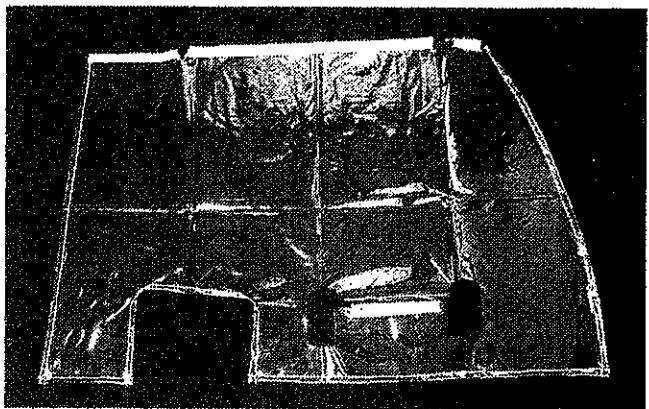


⑤ジャパンタクシーに取り付けた飛沫防止シート
⑥飛沫防止シート



飛沫防止シートを開発

リード ジャパンタクシー専用



石田心也社長

シートは透明な塗化ビニール製。大きさは縦約70cm、横約110cm。車両天井にマジックテープやビスで貼り付けるタイプで、運転席を囲むように設置する。

ジャパンタクシーはスロ

ープや手すりを備え、車いす利用者や高齢者、荷物の多い旅行者の誰もが使いやすい車両。飛沫防止シートはジャパンタクシーの仕様に合わせて設計した。シートが手すりや金銭受けなどを邪魔せず、UD機能を損なわないよう配慮している。

以前から取引していたつばめグループから、6月上旬に依頼を受けて開発に着手。天野社長の意見を参考

タクシー用品の企画開発・販売を手掛けるリード（本社春日井市八幡町72の11、石田心也社長、電話052-800-31-7700）は、トヨタ自動車のユニバーサルデザイン（UD）車「ジャパン（JPN）タクシー」専用の飛沫（ひまつ）防止シートを開発。つばめ自動車（本社名古屋市、天野清美社長）を中心とするタクシー大手、つばめグループに約400枚を納品した。シートは乗客と乗務員を飛沫感染から守るもので、UD機能を損なつことが無いよう形状を工夫した。つばめグループの特注品だが、外販にも対応する。

（樹田宏行）

つばめに400枚納品 外販も対応

に試作を重ねた。春日井市内の自社工場で製造し、納品まで1カ月弱という短納期を実現した。

リードは新型コロナの感染拡大を受け、全国のタクシー事業者から飛沫感染対策パネルや防護板などを相次ぎ受注し、販売してきた。今回のつばめグループ特注の飛沫防止シートも外販に対応する。コロナ収束に向に見通せず、根強いタクシーの安心・安全ニーズに応える。

リードの八杉ひみ常務は、「お客様の『要望に少しでも貢献できれば』と話している。

同社は1962年創業。タクシー車両のシートカバー、フロアマットなどの内装品を中心としたタクシー用品を主力としており、呼気アルコール測定器など、タクシー用品を取り扱うシートカバーはリースで提供している。従業員は約200人。

